

# MEMS協議会(MEMS Industry Forum)の動き

MEMS協議会(MIF)は、我が国MEMS産業の国際競争力強化に貢献することを目的として、MEMS関連企業の構成メンバーが中心となり、アフィリエイト関係にあるアカデミー、地域拠点、海外機関等と連携しながら種々の活動を推進しています。

## 1. 今年度の活動計画

MIF推進委員会の下、産業交流委員会、ファンドリーサービス産業委員会、国際交流委員会等の委員会を設置して具体的な事業活動を展開しています。5月から6月にかけて、MIF推進委員会を始め、3つの各委員会が第1回の委員会を開催し、年度計画の決定をしてきました。

6月9日に開催された推進委員会にて、今年度の全体活動計画が決定されました。今年度は、従来から進めている活動の改善・強化に加え、将来のマイクロナノ研究開発拠点の実現に向けた布石となるような活動を実施する計画です。特徴としては以下の3つがあります。

人材育成プログラムを自立的に全国展開することを目指して、人材育成推進委員会を新たに設置して事業を進めること。

将来のマイクロナノ研究開発拠点はどのような戦略を持つべきで、そのための運営体制、実現シナリオをどうするか、協議会メンバー企業を中心とした検討会を設置して検討を進めること。Gデバイス@BEANSによって産総研に導入される装置群を今後、どのように活用してMEMSファンドリーサービスとの連携を深めるか検討すること。

以上のような活動計画に沿った諸委員会の活動計画を各々決定し、今年度事業が開始されています。

## 2. マイクロナノ2010の開催準備

総合イベント「マイクロナノ2010」を7月28日～30日、東京ビッグサイトで開催します。今年度の特長とその準備状況を以下に報告します。

国際シンポはGデバイスを側面支援

第16回となる今回は、「アンビエントデバイスが拓くグリーンイノベーション」をテーマとして海外研究機関の最新成果を集めます。産総研・集積マイクロシステム研究センター 伊藤副センター長に相談しながら、国際交流委員会の所管事項としてプログ

ラムの検討を進めました。Gデバイス@BEANSの研究テーマと重ね合わせることで、内外の研究動向を把握できることも狙っています。

TIA-NMEMSシンポの開催

午前のPartIと午後のPartIIIに分け、PartIでつくばイノベーションアリーナ(TIA) Nanoのコア領域の一つであるNMEMSに寄せられる産学官の期待を集め、PartIIで従来のMEMS協議会フォーラムとして、構想実現の布石になる活動を紹介します。PartIは産総研との共催として、密接な連携をアピールします。

就活応援プラザの設置

新たな試みとして、MEMS業界に関心のある学生と、この分野を研究している優秀な人材が欲しい企業の出会いの場を提供する就活応援プラザを設置します。出展社への協力依頼および産業交流委員会を通じた呼びかけ、さらに出展予定の大学研究室への周知で、多くの企業・学生の参加を期待しています。

## 3. 国際交流事業 ハノーバーメッセ、マイクロマシンサミット

国際交流事業としては、国際シンポ開催や海外調査ミッション派遣などビジネス・学術の国際交流を行っています。

今年度はこれまでに、4月19 - 23日ハノーバーメッセ2010(独・ハノーバー)での展示・発表や4月27 - 30日第16回マイクロマシンサミット(独・ドルトムント)への参加がありました。

いずれもアイスランド火山噴火による航空混乱という厳しい状況下でしたが、MEMS協議会メンバー企業の支援も受け、実現できました。今回のサミットは、高齢化の進む社会をマイクロナノ技術でいかに生活しやすいものにするか、がテーマであり、日本にとっての大きな課題が世界共通であり、多くの取組みと競争のあることが実感できました。



第16回マイクロマシンサミット  
(独・ドルトムント)